

日本語教育の危機を救え！ 全米各地の学校長・関係者ら23名が教育現場を視察

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、米国の初中等教育機関の校長及び州教育行政担当官を日本に招へいする「米国教育関係者グループ招へい事業」を2008年度から行っています。このプログラムは、日本の教育・文化・社会の状況の視察や、教員、教育行政の関係者との意見交換を通じ、日本語教育に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

3年目となる2010年11月には、米国にて日本語講座を開設している学校の校長先生や、教育行政関係者ら23名が、ワシントンDC、カリフォルニアなど全米各地から来日します。ほぼ全員が初めての来日で、滞在中に東京、埼玉、京都を訪問し、日本の教育や文化に関する講義を受けるほか、学校や文化・教育・産業施設を訪問して関係者と意見交換を行います。



招へい期間 | 2011年11月7日(日)～11月14日(日) 8日間

招へい人数 | 23名

主な訪問先・予定 | 東京、埼玉、京都など

外務省、文部科学省、国際交流基金日本語国際センター、鳩ヶ谷市立中居小学校、さいたま市立浦和高等学校などへ訪問。教育に関するレクチャーやディスカッション、日本文化体験や学校長との意見交換などを実施。

来日予定者 |

アイダホ州	アイダホ州教育省人文・美術教育担当官
アラスカ州	アンカレッジ学区外国語課程コーディネイター
ヴァージニア州	フェアファックス郡公立学区初等中等教育外国語担当官
ウィスコンシン州	リンカーン高校校長
カリフォルニア州	ヴァーデューゴ・ウッドランズ小学校校長、サンフランシスコ市長室市長教育顧問
グアム島	ジョンF.ケネディ高校日本語主任
コロラド州	コロラド州第7選挙区教育委員会教育委員
テネシー州	ホワイト・ステーション高校校長、ホワイト・ステーション中学校校長、リッチランド小学校校長
ノースカロライナ州	スミス国際言語アカデミー校長、ノースカロライナ州教育省初等中等課程教育部長
ハワイ州	ニウ・バレー中学校校長
フロリダ州	テラ環境リサーチ高校校長
ペンシルベニア州	ローワー・メリオン学区外国語主任
マサチューセッツ州	ボストン・ラテン・アカデミー校長
ミシガン州	トロイ学区中等教育政策担当副教育長
ミネソタ州	ブルーミントン公立学区教育部長
メイン州	ホールデール学区教育長
ワシントンDC	連邦教育省国際交流課担当官
ワシントン州	シアトル公立学区日本語教師、ジョン・スタンフォードインターナショナル・スクール校長

お問い合わせ： 国際交流基金日本語教育支援部 さくらネットワークチーム 担当：米山
電話：03-5369-6067 FAX：03-5369-6040 E-MAIL：Nao_Yoneyama@jpf.go.jp